

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、「題材を貫く問い」を立てて、題材計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第3学年

美術科

題材名「墨の世界」

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

自分なりの表現とはどのようなものだろう。

② 題材を貫く問い （題材を通して考え深めていく「問い」）

心の世界をどのように表現すればよいだろう

③ 個別の問い （題材を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・ 墨を使った表現にはどのような特徴があるだろう。
- ・ 墨を使うとどのような表現ができるだろう。
- ・ 効果的な表現方法とはどのようなものだろう。

題材計画の
構想を立てる

- 1 水墨画の作品を鑑賞し、作者の表現意図や水墨画の表現の工夫を感じ取る
- 2 墨を使ってどのような表現ができるか試す。
- 3 自分の表現したいことに合わせて表現を工夫して表す。
- 4 作品鑑賞会を開き、友達の表現の工夫や意図を感じ取る。